

21校
125名

ロボットセンター
見学：アイデア提出

12月18～25日

地方大会

ロボットアイデア甲子園
(四国)

書類審査・発表者決定

12月27日

全国大会

地方予選最優秀者
プレゼン⇒優勝決定

3月12日

プレゼン⇒優秀者決定

1月29日

1月29日(土)
地方発表会場(香川)

3月12日(土)
全国発表会場(東京)

12月18日(土) 12校52名
香川・徳島見学会場

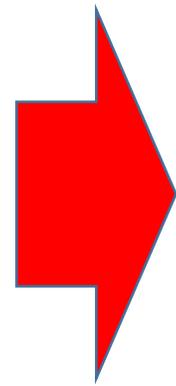
12月22日(水) 6校56名
愛媛中予・南予見学会場

12月25日(土) 4校30名
高知・愛媛東予見学会



産業技術総合研究所 四国センター

Web開催変更



基調講演

Robo-AI開発 武智 大河(Taiga Take)

三豊AI開発

ティンダーリングコンテスト2018

第2回香川テックフランクランプリ

香川高専(説間) 優勝

香川高専(説間)

香川高専(説間)

愛媛県立 松山南高等学校 河内 大和 さん

最優秀賞

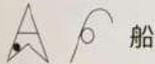
公山南高校 河内大和

愛媛県立 三崎高等学校 中村 理歩 さん

優秀賞

愛媛県立三崎高校 中村理歩

A・F・船
(Auto・Fishing・Ship)



2022年1月29日
愛媛県立新居浜工業高等学校
情報電子科 2年 秋山 極



松山南高等学校
河内大和さん

手話・指文字翻訳機
Sign Language Translator

2021年1月29日
愛媛県立松山南高等
2年8組 河内大和



遠隔実験管理システム
—REMs—

2022年1月29日
大手前高松中学・高等学校
2年5組 矢間 大貴



新居浜工業高等学校
秋山極さん

審査委員の皆さん



大手前高松中学・高等学校
矢間大貴さん

三崎高等学校
中村理歩さん

阿南工業高等専門学校
天羽優太さん

自己紹介

愛中

愛媛県立三崎高校 中村理歩



ビワロボット
～ビワの摘蕾ロボットの提案～

2022年1月29日
香川県立笠田高等学校 次田航



笠田高等学校
次田航さん

ケミストくん

2022年1月29日
阿南工業高等専門学校
創造技術工学科 1年 天羽 優太



四国新聞

ロボット活用案 続々

高松拠点にオンライン大会 四国の高校生、白熱議論



自身が考えた社会に役立つロボットについてプレゼンテーションする高校生＝高松市

高校生が社会に役立つロボットを考える「ロボットアイデア甲子園」が四国大会「が22日、高松市の企業を拠点としてオンライン形式で開かれた。出場した四国内の各高校の生徒は、自身が考案したロボットの活用場面や導入後の経済効果などについてプレゼンテーションし、画面越しに熱戦を繰り広げた。ロボットアイデア甲子園は、高校生の柔軟な発想でロボットの新たな活用方法を見いだそうと、日本ロボ

ット工業会（東京）などが開催。四国大会には四国1県2校から138人がエントリーし、書類による審査などを通じた香川、愛媛、徳島の8県から計8人がこの日の発表に進んだ。原簿は笠田2年の次田航さん、大手前高松2年の矢間大貴さんの2人が出場。次田さんは県内で生産が熱んなピワに着目し、実を大きくするため余分なつぼみを摘み取る簡易な装置を行うロボットを提案した。矢間さんは、さまざまな実験にロボットを活用し、遠隔で管理できるシステムの有効性を説明した。

ケーブルテレビCMS

2022年(令和4年)12月9日(木曜日)

産業用ロボ、高校生と接点

大豊産業

使い方アイデアでコンペ 将来の人材確保に

大豊産業はロボットの展示会開催にも取り組んでいる(2021年、高松市)

徳島大発の「大学支援機構」

産業用ロボットの活用が、大豊産業(徳島)の成長を支えている。同社は、産業用ロボットの活用を促進するために、高校生と接点を持つ取り組みを行っている。これは、将来の人材確保に資する取り組みである。

ロボットの活用が、大豊産業の成長を支えている。同社は、産業用ロボットの活用を促進するために、高校生と接点を持つ取り組みを行っている。これは、将来の人材確保に資する取り組みである。

ニュースの時間です。

ワクチン 合同接種会場

ニュースの時間です。画面には、黄色い花が花瓶に挿してあり、右側には女性が話している様子が見えます。

東京ビッグサイト 3/12

2022国際ロボット展
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

IREX[®]
2022

中止

全国大会1人の持ち時間は、
5分発表 + 1分質疑応答

